

<白金標準、WPIC 需給報告地上在庫、世界消費 4 ヶ月分まで減少・・・>



(出所：オアシス)

トランプ次期大統領は、麻薬などの違法薬物の流入を理由に、米国が既存の全ての課税に加えて中国からの輸入品に 10%の追加関税を課す、またカナダとメキシコからの移民や違法薬物の流入を理由に両国からの全ての輸入品に 25%の関税を課す文書にも署名すると表明したが、メキシコ大統領と電話協議を行い移民阻止で合意し、関税の話題は出なかった。また欧州ではドイツやフランスの総合 PMI・速報値が予想外の低下を見せ、12月の ECB 理事会で 0.5%の利下げ観測が高まりを見せ、白金にはマイナス要因であるユーロ安の動きを見せている。しかし WPIC 第 3 四半期 PGM 需給報告では、2024 年は 21 トンの供給不足を予想し、2025 年においても 17 トンの供給不足を予想するなど、3 年連続の供給不足になると指摘している。また不足を補うため市場在庫は 15%減少の 300 万オンス (93 トン) となるなど、世界需要の 4 ヶ月強に相当する。ただ市場在庫の 7 割強は中国国内に存在しており、国内法で第三ヶ国への輸出が禁止されている事からも今後価値の見直しが強まる可能性は高まると思われる、4500 円で底固めの値動きを続ける様に思われる。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が下げ渋り、**シグナル** は下げている。RCI では**短期**が下げ止まり、**長期**は横ばいを続けている。ただ日足が **200 日移動平均線**から乖離しており、自律反発の動きに備えるのが良いかと思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,410,000(2024年12月2日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約10倍から70倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚あたり往復 71,280円(2024年12月2日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>